

転移性尿路上皮がんに関する後ろ向き研究へのご協力をお願い

東京大学医科学研究所附属病院泌尿器科では、泌尿器疾患の原因を明らかにし、正しく診断し、より有効な治療法を開発することを目標として、さまざまな研究を行っています。

このような研究活動の基礎になるのが、実際に当科を受診された患者さんの診療録（カルテ）の情報です。患者さんの診療録に記録されている各種の臨床情報、検査結果、治療内容と経過などの医学情報は、病気の解明のために大変貴重なものです。そこで、当科では、過去に泌尿器科を受診された患者さんを対象として、診療録に記録されている情報を解析し、患者さんの診療に役立つ情報を取得し医学の発展に貢献したいと考えています。

1 研究課題名

救済治療を実施した転移性尿路上皮癌の予後因子に関する研究（多施設共同研究）

2 対象実施期間

2003年1月1日から2023年8月31日までの期間に東京大学医科学研究所附属病院泌尿器科で治療を受けられた転移性尿路上皮がん（膀胱がん、腎盂がん、尿管がん、尿道がん）の患者さんの診療録を研究の対象といたします。

2. 方法

診療記録を閲覧し、患者さんの個人情報排除して、別の番号のみをつけ、病歴、検査所見、治療内容、臨床経過などの医学情報を調査票に記入し、各種の統計解析を行います。

東京大学医科学研究所附属病院内および代表研究施設である東京大学医学部附属病院にお

いて解析を実施します。

研究期間 2028年9月30日まで。

研究における倫理的配慮について

本研究は、過去の診療録調査だけの研究ですので、患者さんの生命・健康に直接影響を及ぼすことはなく、患者さんから採取した資料を実験的に用いることはありません。氏名・生年月日・ID番号などの個人情報には研究用IDのみをつけて管理し、研究に利用しますので、個人情報がもれることはありません。研究成果は、医学の発展のために学会発表や学術論文発表などをさせていただくことはありますが、その際も個人の特定が可能な情報はすべて削除いたします。また、研究対象に該当するか否かにより、実際の診療内容に影響はすることはありませんし、研究にご協力していただけない場合でも診療上の不利益を受けることはありません。また、ご協力いただける場合でも謝金等は発生いたしません。なお、本研究は泌尿器科の研究費で行われます。このような診療録情報の利用にご承諾いただけない患者さんは、お手数ですが、下記の連絡先にご連絡ください。

最後に、本研究は東京大学医科学研究所倫理審査委員会の承認を受け東京大学医科学研究所長及び附属病院長の許可を受けて実施するものです。本研究についてご不明点等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

【連絡先】 東京大学医科学研究所附属病院泌尿器科 研究責任者・担当者 高橋さゆり

〒108-8639 東京都港区白金台4-6-1 TEL03-3443-8111